

「冬期講習会中の勉強の仕方」を「武者語り」で毎日指導を！

- 「学び方を学ぶ」スキルと「読書による思慮深さ」・「新聞を読んで考え批判的思考能力」を身につけると学力が向上することも冬期講習会中に徹底的に指導を -

開倫塾

塾長 林 明夫

全学年・全クラスとも冬期講習の間の毎日の武者語りでは、次のことを必ず熱く語って下さい。

- (1) 「勉強の仕方」、特に「冬期講習会中の勉強の仕方」を毎日指導。

「予習」ができる科目は十分な予習をするよう伝える。

- (ア) 「予習は、よくわからないところをはっきりさせてから授業に臨むために行う」ことを明確に伝える。「予習の意味」を理解させること。

- (イ) 「辞書の使い方」を具体的に伝える。調べた内容のメモの仕方も。

学習し「理解」した内容は、毎日「復習」をして「スミからスミまですべて確実に身につける」ことを伝える。

- (ア) そのために最も有効なのが「定着のための3大練習」であることを伝える。

- (イ) 数学・理科も「音読練習」と「書き取り練習」で教科書や問題集、ノート、資料の内容をすべて暗記すること。「ノートの取り方」の指導も。

\* 英語・国語・社会も徹底的に「音読練習」と「書き取り練習」を。

- (ウ) 一度やった問題や計算は全科目、もう一回、その日のうちにやり直す。できれば、同じものを5～6回確実にやり直し、「問題を見た瞬間に正確に解答できる」までにする。

\* これが成績向上のコツであることを伝える。

- (2) 「学び方を学ぶ」スキル・能力を身につけると学力が伸びることを伝えた上で、「学習の3段階理論」を毎日指導。自分の力で冬休み中にできるまでにする。

- (3) 「読書により思慮深さを身につけること」「新聞を毎日読み自ら考える力や批判的思考能力を身につけること」が学力向上に直結することを明確に伝え、「読書指導」と「新聞指導」を毎日確実に行うこと。「武者語りによって塾生全員目を輝かす」ようがんばりましょう。

以上、よろしくご指導お願い申し上げます。

感謝